

新年ご挨拶

経済産業省 商務情報政策局
情報技術利用促進課長 兼
情報産業課 AI産業戦略室長

渡辺 琢也



令和8年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

世界では、米国の関税措置や、米中欧をはじめ各国による自国優先の大規模な産業政策の展開など、自由主義経済に代わる新たな国際秩序が生まれようとしています。国内に目を向けると、賃上げや国内投資が約30年ぶりの高水準となり、名目GDPも600兆円の大台を超えるなど、日本経済に明るい兆しが現れています。

一方で、物価高の影響により、家計や企業を取り巻く環境は依然として厳しく、決して楽観視できる状況ではありません。こうした中で、我が国に必要なのは、単なるコスト削減や短期的な需要喚起ではなく、GXやDXを通じて産業構造そのものを高度化し、付加価値と生産性を同時に高めていく成長投資です。今年も、官民総力をあげて、成長型経済の実現に取り組んでまいりましょう。

我が国は人口減少や少子高齢化という構造的課題に直面しています。労働力人口の縮小は、生産能力の低下を通じて供給面に制約をもたらします。このような課題を打破する新たな成長のエンジンこそ生成AIです。

去年は、AIの低コスト化、エージェント化、マルチモーダル化、フィジカル世界への進出など、凄まじい進化を遂げました。生成AIは、既に現実の選択肢として定着しつつあり、産業や社会の生産性を根本から変革する段階に入っています。

こうした生成AIの進展を我が国の成長に確実につなげるべく、経済産業省では、これまで、プログラムを通じたAI開発力の強化や、計算資源の国内整備等を進めてきたところです。今後、AI開発力の更なる強化や社会実装の促進に向けて、日本が強みを持つ製造業や、高齢化・災害等の社会課題対応などにおける更なるデータ活用を促し、国際競争力のあるAIの開発・提供を促進していきます。

その際、多様な種類のデータに対応した基盤モデルを開発することで、高い品質のデータを安心・安全に活用する環境を整備し、フィジカルAIやAIロボットの開発を推進していきます。また、AIの普及に伴うリスクに適切に対応していくため、その手法に関する国内外のハブとして設立されたの抜本的強化に貢献すべく、研究開発等を推進していきます。

高市内閣が掲げる成長戦略において、

「AI・半導体」は戦略分野の1つ目に位置づけられており、今後、政府をあげて、設備投資や研究開発等の官民の積極的な投資を引き出していく方針です。今後の経済社会のイノベーションのコアであり、変化の激しいAIに対し、今後も不断かつ迅速に対応策を検討し、実行してまいります。皆様とも引き続き連携させていただければ幸いです。

これまでも組込みソフトウェア産業は、自動車や産業機械などのモノのスマート化を実現する中核技術として、我が国の産業を力強く支えてこられました。現在、AIが物理空間へと適用範囲を広げている中、こうしたフィジカルAIの実装においては、リアルタイム性やハードウェアの特性を踏まえた高度な制御・最適化が不可欠であり、その要となるのが組込みソフトウェアです。

組込みシステム技術協会及び会員の皆様におかれては、引き続き日本のDX、さらにはAIを活用した産業変革の牽引役として、各方面でリーダーシップを発揮されることを期待しております。

皆様にとって、新しい年がより良き年となりますよう心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

令和8年 1月

会 副 長 竹 内 嘉 一
副 事 業 推 進 本 部 長 渡 辺 博 之
副 会 長 佐 野 勝 大
専 務 理 事 山 田 敏 行

ET 事 業 本 部 長
交 流 推 進 本 部 長
人 材 育 成 事 業 本 部 長
技 術 本 部 長

鴨 林 英 雄
佐 々 木 道 夫
杉 本 浩
竹 岡 尚 三